

編集後記

○暖冬といわれて久しく、その言葉が新鮮さを失ってしま
い、むしろ定着してしまつたような気がする。

会員諸氏には御健勝のことと存じます。

さて、別府大学国語国文学会の第三十三号をおとどけす
る運びとなりました。本号には研究生のレポートとして
一編掲載しました。日本と中国は同じ漢字を使用してい
るのですが、長い間に意味にずれが生じてきているよう
です。このレポートは、そのことを改めて感じさせるも
のとなりました。

○栗栖真人先生（近代文学）が日本大学法学部へ転出され
てから久しくなりました。その間長い間空白となつてお
りました近代文学の欠員を今般、山本裕一氏が講師とし
てうめて下さることになりました。一安心です。

○坂口頼孝先生は目下中国交流基金の招きで、中国で日本
語をおしえておられます。西洋にむけられていた国際交
流の目がアジアにむけられるということが多とするとこ
ろです。

（安東記）

別府大学国語国文学 第三十三号

平成三年十二月三十日

発行者 古 庄 ゆき子

発行所 別府市北石垣八二

別府大学国語国文学会
電話（〇九七）⑧〇〇二番

印刷所

別府市亀川東町四一〇
つちや 軽印刷
電話（〇九七）⑧三六番